

SHIRAKOBATO

# しらこぼと



1993. 2

SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

WILD BIRD



NO. 105

日本野鳥の会 埼玉県支部

# Rubbish birds

## 毒を持つようになった鳥たち

寒くて戸外での探鳥がおっくうな時は、こたつに入ってみかんでも食べながら、本の中で鳥を楽しんではいかがでしょう。今回はちょっとサイエンスなお話です。

英国の "Nature" 誌、米国の "Science" 誌  
と言えば、現在世界で最も権威のある学術雑  
誌で、毎号科学の最先端の最もホットな話題  
や論文が掲載されています。日本の大手の新  
聞で科学関連の話題が取り上げられる場合、  
この2誌からの引用が多いので見覚えのある  
方も多いのではないのでしょうか。

これらの学術雑誌に現在最も多く取り上げ  
られる分野はやはり、今花盛りの医学、生命  
科学関連のものですが、天文学、物理学、数  
学などの分野の論文も、もちろん取り上げら  
れています。そしてそれらの中で、我が B i  
r d に関する話題もごく希ではありますが、  
取り上げられる事があります。

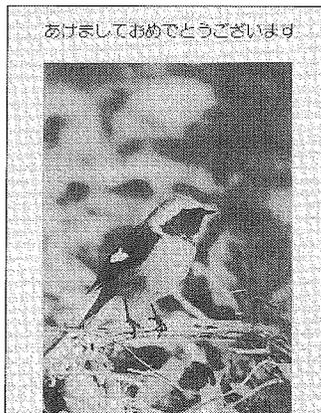
先日、"Science" 誌の10月30日号に鳥  
に関する論文が掲載され、なんと華々しくも  
3羽の鳥の姿がその号の表紙を飾ったのです。  
そしてその論文の報告はそれにふさわしい非  
常に興味深い事実の発見でした。

新聞にも取り上げられたそうなのでご存知の  
方もいるかもしれませんが、ここでその論文  
の内容を少し詳しくご紹介したいと思います。  
**論文の内容**

まずこの論文のタイトルと著者を明記して  
おきたいと思います。タイトルは "Homobatr  
achotoxin in the Genus *Pitohui*: Chemical  
Defense in Birds?" 著者は John P. Dumba  
cherら他4名で、シカゴ大学、スミソニアン  
研究所、国立衛生研究所の共同研究です。

主役はニューギニアに住む *Pitohui* (和名  
モリモズ) と言う属名の中型の鳥達です。こ  
の鳥達は現地の人々に "Rubbish birds"  
「役立たずな鳥」と呼ばれていました。つま  
り食べられない、食料にならない鳥と言うわ  
けです。

そこで研究者達はこの鳥のいろいろな組織  
の成分を分析してみました。エタノール抽出  
によって得られた成分をハツカネズミに皮下



(手塚正義)

1. Hooded pitohui ( <i>P. dichrous</i> )ズグロモリモズ		
皮膚	10mg相当	痙攣、19分以内に死亡
羽毛	25mg相当	痙攣、19分以内に死亡
筋肉	100mg相当	痙攣、70分以内に死亡
心臓、肝臓	300mg相当	効果なし
胃	300mg相当	効果なし
2. Variable pitohui ( <i>P. kirhocephalus</i> )カワリモリモズ		
皮膚	20mg相当	痙攣、18分以内に死亡
羽毛	50mg相当	痙攣、27分以内に死亡
筋肉	200mg相当	効果なし
心臓、肝臓	300mg相当	効果なし
胃	300mg相当	効果なし
3. Rusty pitohui ( <i>P. ferrugineus</i> )サビロモリモズ		
皮膚	40mg相当	痙攣、40分以内に死亡
羽毛	100mg相当	効果なし
筋肉	200mg相当	効果なし

注射すると組織にしてわずか数10mg相当の量でそのハツカネズミは数十分後には痙攣を起こして死んでしまったのです。それらの結果を表に示しました。

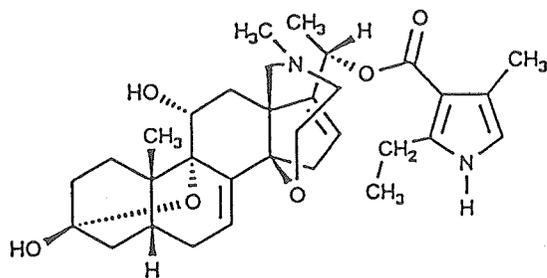
毒成分を持っていたのは3種のpitohuiで、そのデータが示すようにその毒性は非常に強いものでした。

つまり最も毒性の強いのはズグロモリモズであり、次にカワリモリモズ、サビイロモリモズの順であり、また組織別にみると、皮膚が最も毒性が強く、次に羽毛、筋肉の順であることがわかります。

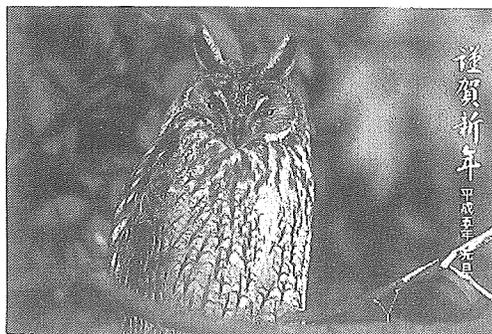
さらにその毒性成分を分画した後、分析してみると、下図に示したようなステロイドアルカロイド構造を持つ、ホモバトラコトキシンと言う物質であることがわかりました。

おもしろい事に、実はこの物質は、南米コロンビアに住むインディオたちが、吹き矢に塗る毒として利用しているもので、コロンビア西部に生息する *Phylllobates* 属のカエルの皮膚の分泌液の中に含まれる有毒成分と同じものだったのです。

この毒は、有機化合物辞典によると、天然から得られる毒で最強のものの一つということで、その毒性の強さと作用機序は、フグ毒として有名なテトロドトキシンとよく似ており、ともに強力な神経毒として、細胞のナトリウムチャンネルに作用して神経や筋肉の機能を破壊してしまいます。



Homobatrachotoxin



(柴崎行雄)

### 化学的防御と進化

このような強力な毒を体内に持つ生物は、昆虫や魚類、両生類ではすでにいくつかの例が知られていますが、もちろん鳥類でははじめての報告です。

筆者らはこの毒を持つ事の意義は他の生物と同様、捕食者からの化学的な自己防御であろうと述べています。そしてコロンビアのカエルと同じ毒性分をもっていましたが、この両者は地理的（オセアニアと南アメリカ）にも進化的（両生類と鳥類）にも大きく隔たっていることから、それぞれが進化の過程で独自に獲得したものであろうと論じています。

ツグミやカモも食べられてばかりいると、やがて毒を持つ性質を獲得して、人間に復讐するようになるかもしれませんね。

(林 慎一)

### 参考文献

1. John P. Dumbacher, Bruce M. Beehler, Thomas F. Spande, H. Martin Garraffo and John W. Daly *Science* Vol. 258 799-801 (1992)
  2. 有機化合物辞典 講談社 (1985)
- \* 和名はパソコン通信のNIFTY-Serveのバードフォーラムで教えていただきました。ちなみに私のIDはJBE01700です。メール歓迎。

## 地鳴きコーナー

### 新潟探鳥会記

山下晋司 (小平市)

——鳥影も少なく静かな佐潟。湖全体が暮色を帯び、一日の鳥見が終ろうとしていた。そのとき「コォー、コォー」、遠くの砂丘、松林をこえてハクチョウたちが飛んでくる。思い思いの群をつくり、私たちのほうへ向かってくるのだ。本来の色を失いはじめた山肌は、すでに黒々としたかたまりとなっていたが、わずかな光の中で、幾筋もの白い帯がはたまくように舞い、水面に墜ちていく。

宿へ向かうバスへ乗りこむときも、ハクチョウたちの帰還は続いていた。——

この探鳥会に参加されてどんな映像が刻まれましたか。薄明かりの中で見えた漁火、朝日をうけ角度が合うたびに白く光ったカモメの群、それとも曇り空にさっと陽光が射すように浮かび上がった虹でしょうか。八十八荘に貼られていたポスターだったりして？(んなわけネェかァ) 50人の参加者がいたら50コマのハイライトがあり、来年来られるであろう人達のためにまた別の新たなハイライトが用意されているのではないのでしょうか。

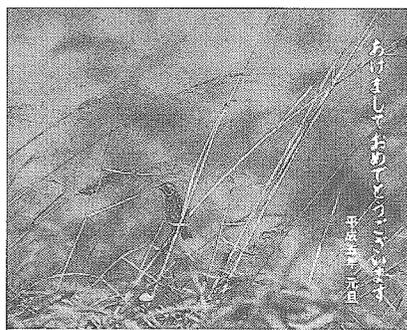
でも今思い返すとあの新鮮な感動も情性化した生活の中で薄れ、一つの思い出でしかなくなってきたようです。これはしかたの



(長谷部謙二)



(中村 治)



(柳原正昭)

## 頌 春
















当年22歳  
県鳥ウグイス  
市の鳥カワセミ  
待つはレンジャク  
私たち甲府支部一同

ことしもよろしくおねがいします

1993年 元 旦

日本野鳥の会 甲府支部  
支部長 中 村 司

ないことかもしれないけど・・・残念です。  
気分が少し減入ってきたので自分への応援歌を書いて感想文の終りにします。幹事のかたがた、参加された皆様、楽しいひとときをありがとうございました。

時にめげそうになる自分にいいかせよう。  
始めようとして遅すぎることはない。  
週末には鳥が待っていてくれるさ。  
退屈な日常が何だというのだ。  
さあ、靴をはき、  
元気よくドアを開けて出て行こう。  
寒々とした雑踏のなかへ。

あけましておめでとうございます



黒田佳子

あけましておめでとうございます



寺尾一之

明けましておめでとう  
ございます

昨年は喫煙問題とエイズ対策で忙しい思いを  
しましたが、いずれも現在わが国の公衆衛生が  
抱えている大きな課題です。

家内は家庭菜園に加えて謎を始め、私も時々  
能を見に行くようになりました。娘はこの春  
高校を卒業の予定。進学に成功するか、浪人か？

平成5年元旦

オニオオハシ  
Toco Toucan  
Rasphastus toco  
於アルゼンチン国  
イグアス国立公園



箕輪眞澄

新年おめでとうございます

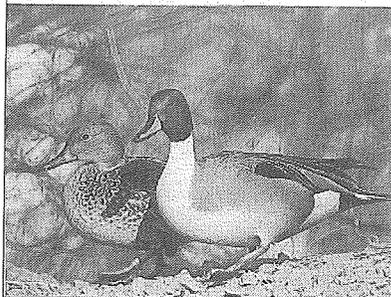
大滝孝久・早苗(蕨市)

3~4年前から夫婦で会員になりましたが、  
今回、初めてお便りします。家が蕨、職場が  
和光市(夫)と戸田市(妻)なので荒川には  
縁があります。

このスズメの写真は、夫がさきたま大橋の  
下で撮ったものです。数の多いのもさること  
ながら、一羽一羽のしぐさがかわいいです。



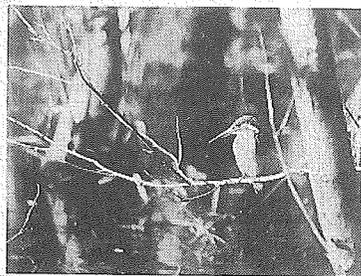
あけまして  
おめでとうございます  
平成五年 元旦



千葉幸好・初子

初春のお慶びを申し上げます

平成五年元旦



草野 祥三・恵  
可奈子・康介



ハジロカイツブリ ◇11月22日、戸田市道満調節池で4羽(有山智樹)。

マガン ◇11月24日、本庄市の阪東大橋下流で若鳥1羽(井上幹男)。

コハクチョウ ◇10月24日、戸田市道満調節池で成鳥1羽、若鳥1羽。午前中のみ滞留(有山智樹)。◇10月25日午後12時30分、越谷市の大吉貯水池で成鳥1羽、若鳥1羽。午後1時41分、犬が近づき、2羽とも上空を右回りに一旋回し南西方向に飛んでいく(山部直喜)。◇10月25日午後4時~5時、幸手市上吉羽の中川で成鳥3羽、若鳥2羽(秋間利夫)。◇11月5日、本庄市の阪東大橋下流で1羽(井上幹男)。

オシドリ ◇11月17日、戸田市道満調整池で♀1羽(有山智樹)。

トモエガモ ◇11月5日、戸田市道満調節池でオカヨシガモ群れ中に♂1羽(二村英克)。11月22日、同所で♂7羽、♀2羽(有山智樹)。

ヨシガモ ◇10月31日、本庄市の阪東大橋下流で11羽。♂のナポレオンハットもまた鮮やかさに欠けていたが、10羽以上はここではニュース(町田好一郎)。◇11月22日、戸田市道満調節池で♂1羽(有山智樹)。

オカヨシガモ ◇10月31日、志木市の柳瀬川でエクリプス♂1羽(中司隆由)。

アカハジロ ◇11月24日、浦和市の白幡沼で♂1羽。通行人の投げるパンクズを目当てにかなり近くまで寄ってきた(有山智樹)。

スズガモ ◇11月1日、富士見市の新河岸川伊佐島橋~南畑橋間で♀1羽(中司隆由)。

ホオジロガモ 11月22日、戸田市道満調節池で♂1羽。単独で泳ぎ、盛んに水浴びをしていた(有山智樹)。

ミコアイサ ◇10月30日午前6時、本庄市の阪東大橋下流で♀タイプ1羽(町田好一郎)。◇11月5日、戸田市道満調節池で♀1羽(二村英克)。

オオタカ ◇10月8日、戸田市道満で成鳥1羽。カモの群れを襲撃し、オナガガモを捕

らえる。水の中から引き上げた後、羽をむしり始めた(有山智樹)。◇10月11日、朝霞市内間木の林で若鳥1羽(宇賀神若人)。

ハヤブサ ◇11月15日、戸田市道満で成鳥1羽。高圧線鉄塔上から飛び立つ。ものすごいスピードで前方を飛んでいたドバトを見事捕らえた(有山智樹)。

チョウゲンボウ ◇11月1日、春日部市の増田新田で1羽(石川敏男)。◇11月6日、川越市鴨田で1羽(中司隆由)。

ウズラ ◇10月28日、浦和市秋ヶ瀬のB区で1羽(有山智樹)。

シロチドリ ◇11月3日、熊谷市大麻生の野鳥の森の下流で20羽(菱沼一充)。

ケリ ◇10月10日、加須市北小浜大沼付近の田んぼで2羽(渡辺敦)。◇11月12日、大宮市宝来町の指扇病院北西の田んぼでタゲリ31羽とともに1羽(佐藤進)。

タゲリ ◇10月23日、吹上町大芦の田んぼで1羽(栗原省二)。◇10月26日富士見市の柳瀬川左岸の田んぼで3羽(中司隆由)。◇10月31日、桶川市川田谷で9羽(立岩恒久)。◇11月1日、本庄市の阪東大橋下流で4羽(町田好一郎)。11月1日、春日部市の増田神田で11羽(石川敏男)。◇11月3日、幸手市木立の中川で3羽(秋間利夫)。◇11月8日、戸田市道満調節池で8羽(高橋美保子)。

オジロトウネン ◇11月2日、本庄市の阪東大橋下流で7羽(井上幹男)。

ハマシギ ◇10月24日、志木市の柳瀬川、高橋~栄橋間で25羽(二村英克)。◇11月3日、熊谷市大麻生の野鳥の森の下流で30羽(菱沼一充)。

ツルシギ ◇11月10日、戸田市道満調節池で1羽(二村英克)。

ヤマシギ ◇10月31日、戸田市道満で1羽。足下から飛び立つ(有山智樹)。

オオセグロカモメ ◇11月3日、戸田市道満調節池で1羽。写真なし(高橋達也)。

ウミネコ ◇11月2日、志木市の柳瀬川、高橋~栄橋間で1羽(二村英克)。

コミミズク ◇11月14日、戸田市道満調節池水門に近い池の南側で2羽(二村英克)。

アマツバメ ◇11月3日、戸田市道満で5羽  
(有山智樹)。

カワセミ ◇10月23日、吹上町荊原で1羽。  
水面をかすめて飛来。杭の上で一休み。し  
ばらくして、向きをかえた背中色の鮮やか  
かだったこと(栗原省二)。◇11月19日、  
所沢市の航空記念公園の池で1羽。いつも  
2時半頃にいる(鈴木稔)。

アリスイ ◇10月30日、狭山市柏原の入間川  
で1羽(久保田忠資)。

アオゲラ ◇11月3日、大宮市の東大宮中央  
公園で1羽(藤原真理)。

ホオジロハクセキレイ ◇10月18日、大宮市  
宝来町で1羽。同じ場所で春にも観察した  
が半年ぶりに再会。ビデオに撮影した(佐  
藤進)。

ビンズイ ◇10月18日、戸田市の戸田橋付近  
の荒川河川敷で2羽(高橋達也)。◇11月  
20日、大宮市日進1丁目で8羽(森本國夫)。

トラツグミ ◇11月20日、本庄市の阪東大橋  
下流で1羽(井上幹男)。

カヤクグリ ◇11月15日、神泉村の下久保ダ  
ムで2羽(田口浩司)。

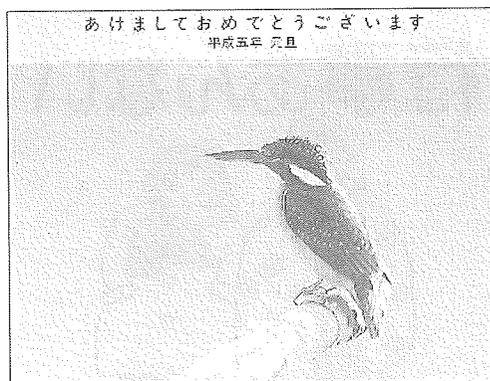
アカハラ ◇11月14日、浦和市秋ヶ瀬のピク  
ニックの森で1羽(二村英克)。◇11月15  
日、戸田市道満の釣り堀の林で1羽(高橋  
美保子)。

キクイタダキ ◇11月15日、三峰山で1羽  
(山岸昭治)。

キビタキ ◇11月3日、三峰山で♂の若鳥1  
羽、♀1羽。「ピーピー」とヒヨコの様な  
声を出しながら追尾行動をする。いつまで  
いるのだろう(山岸昭治)。

ヒガラ ◇11月19日、大宮市日進1丁目で2  
羽(森本國夫)。

オオジュリン ◇11月15日、春日部市の増田



岩崎雄二

新田のアシ原で鳴き声を聞く(石川敏男)。  
カシラダカ ◇10月23日、JR桶川駅西口公  
園の桜の木で4羽(立岩恒久)。◇10月27  
日、秩父市の羊山公園で1羽(山岸昭治)。  
◇11月3日、三峰山で多数(山岸昭子)。  
ミヤマホオジロ ◇11月15日、三峰山で4羽  
(山岸昭治)。  
クロジ ◇11月3日、本庄市の阪東大橋下流  
で1羽(井上幹男)。  
アトリ ◇11月2日、秩父市美の山で1羽  
(山岸昭治)。  
マヒワ ◇11月8日、熊谷市大麻生で♀3羽  
(菱沼一充)。  
ベニマシコ ◇11月15日、神泉村の下久保ダ  
ムで♀1羽(田口浩司)。  
ウソ ◇11月3日、三峰山で鳴き声を聞く  
(山岸昭治)。◇11月17日、秩父市の羊山  
公園でアカウソ♂1羽♀2羽(山岸昭治)。  
シメ ◇10月29日、秩父市の羊山公園で1羽  
(山岸昭治)。  
カケス ◇10月21日、幸手市上吉羽で1羽  
(秋間利夫)。◇10月27日、戸田市の戸田  
公園で1羽(高橋達也)。◇11月23日、朝霞  
市岡3丁目で2羽(宇賀神若人)。

表紙の写真

ネイチャーフォトコンテスト1992 入選作

## ホオジロ(ホオジロ科)

前日の大雪と早朝の大地震で電車が動きま  
せん。探鳥会をあきらめて、近くで雪の鳥た  
ちの写真でも撮ろうと、予定変更。

——なんと美しいのだろう。雪の反射をう  
けて、いつも見過ごしているスズメやヒヨド

りたちも新鮮。飛んだ時の腹部が真っ白で、  
キラッキラッと光輝く。雪はいいなあ。

止まっているホオジロにカメラを向け、飛  
んだ瞬間を、パチッ。お気に入りの1枚が写  
せました。

内田博子(小平市)

# 行事あんない



## 北本市・石戸宿探鳥会

期日：2月7日(日)  
集合：午前9時20分 北本観察公園駐車場  
交通：JR高崎線北本駅西口よりリーダーの指示に従ってタクシーに分乗。午前8時45分ごろに駅にお越しください。  
担当：岡安、榎本、内藤、吉原、関口  
見どころ：ツグミ、ジョウビタキなど冬鳥いろいろ。自然全般について学べるピギナー向きコースです。

## 群馬県・裏妙義探鳥会

期日：2月7日(日)  
集合：午前9時20分 JR高崎線横川駅改札口  
交通：大宮6：56発各停または大宮7：35発新特急谷川1号に乗車、高崎で各停8：39発に乗り換え  
担当：小林(み)、松井、草間、菱沼(一)  
見どころ：湖畔の枯れ木に、今年も咲くかな、オシドリの花。イヌワシ氏には、現在出演交渉中。片道5km歩きます。しっかりした靴でお越し下さい。

## 上尾市・丸山公園探鳥会

期日：2月11日(木・祝)  
集合：午前7時20分 公園北口駐車場  
交通：JR高崎線上尾駅西口1番バス乗り場から上尾車庫行き7：03発に乗車、終点下車。  
担当：乗田、吉原、赤瀬、立岩、阿久沢  
見どころ：冬枯れの芦原に越冬中のタマシギやクイナを探します。防寒にご注意を。

探鳥会への参加は、特別な場合を除いて予約申込みの必要はありません。受付は探鳥会当日。参加費は一般100円。会員及び中学生以下50円。持ち物は、筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、もしあれば双眼鏡など。小雨決行です。解散時刻は、特に記載のない場合、正午から午後1時ごろになります。

◇はじめて探鳥会に参加される方へ◇

集合場所へ着いたら、まず“日本野鳥の会埼玉県支部”の旗か、青い腕章をつけた担当者を探して、遠慮なく声をおかけ下さい。私達もあなたを探していますので、ご心配なく。

## 深谷市・仙元山公園探鳥会

期日：2月11日(木・祝)  
集合：午前9時 JR高崎線深谷駅前  
担当：菱沼(一)、小淵、川島、菱沼、小野沢  
見どころ：冬の小鳥やカラ類、メジロ、キクイタダキの混群など。瀧宮神社、浅間神社などを回って、のんびりと鳥見物。

## 蓮田市・黒浜沼探鳥会

期日：2月13日(土)  
集合：午前8時45分 JR東北線蓮田駅東口  
担当：中島(康)、林(慎)、小林(恒)、入山、山岡、石川  
見どころ：コガモ、アオサギ、タゲリや芦原の鳥を、蓮田の楽園でゆっくりと。

## 熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：2月14日(日)  
集合：午前9時30分 秩父鉄道大麻生駅前  
担当：菱沼(一)、森本、林(滋)、関口、菱沼(洋)、斉藤、塚本、中島(章)、川島  
見どころ：バードウォッチングに最適な季節。意外な出会いが多いのもこの季節。あここがれの赤い鳥やオトラさんにも会えるかな？

## 所沢市・狭山湖探鳥会

期日：2月14日(日)  
集合：午前9時10分 西武線西武球場前  
交通：西武狭山線西所沢8：58→西武球場前

9:03着

担当：三田、石井（幸）、小野、佐久間、杉本、長谷部、黒田、柳原、山本、中村（祐）

見どころ：湖の道化師・ホオジロガモ。緑の頭に白い頬、たくみな潜水を披露してくれます。防寒対策お忘れなく。

### 茨城県・菅沼探鳥会

期日：2月14日（日）

集合：午前8時45分 東武線北越谷駅東口

担当：中島（康）、松井、楠見、石川、山部、草間、入山、篠原（東）

見どころ：コハクチョウやワシタカ類、カモ多数。車で来られる方は中島まで事前に連絡願います。

### 東京都・高尾山探鳥会

期日：2月20日（土）

集合：午前9時 京王線高尾山口駅前

交通：京王新宿線7:58発急行に乗車

担当：登坂、小林（み）

見どころ：クリクリッとしたルリビタキの瞳を求めて自然研究1号路を登る予定。人なっつこいやマガラや、運が良ければシロハラ姿も。

### 浦和市・三室地区定例探鳥会

期日：2月21日（日）

集合：午前8時15分 京浜東北線北浦和駅東口（集合後、バスで現地へ）または、午前9時 浦和市立郷土博物館前

後援：浦和立郷土博物館

担当：楠見、福井、渡辺、手塚、伊藤、笠原、田口、馬場、岡部、嶋田

見どころ：田にぼに、斜面林に、代用水に、春が、かすかな姿を見せる頃。春を探しにお出かけ下さい。

### 滑川町・武蔵丘陵森林公園探鳥会

期日：2月21日（日）

集合：午前10時 森林公園南口駐車場

交通：東武東上線森林公園駅から東武バス森林公園南口行き9:42に乗車、南口下車。

費用：参加費の他、入園料（370円、小・中学生80円）が必要です。

担当：森本、榎本、内藤、吉原、逸見、関口  
見どころ：春の息吹きを感じとろう。暖かな斜面にはフクジュソウの黄色が見えかくれしているでしょう。

### 本庄市・阪東大橋探鳥会

期日：2月21日（日）

集合：午前9時 JR高崎線本庄駅北口（集合後、現地までバス利用）

担当：町田、北川、林（滋）、小淵、小野沢、川島

見どころ：マガン越冬中。カワアイサも元気、ノスリ君、オオタカ殿も待ってます。暖かい服装でどうぞ。今回は周遊コースを予定、例のトイレまで行きません。

### 『しらこぼと』袋づめの会

とき：2月27日（土）午後1時～2時ごろ

会場：支部事務局

### 野鳥写真クラブ定例会

とき：2月27日（土）午後2時ごろ～5時

会場：『しらこぼと』袋づめの会と同じ

### 行田市・さきたま古墳公園探鳥会

期日：2月28日（日）

集合：午前8時45分 JR高崎線吹上駅北口（集合後、バスで現地へ）または午前9時30分 県立さきたま資料館前レストハウス。

担当：内藤、岡安、榎本、逸見、関口

見どころ：県名発祥の地での初めての探鳥会、水鳥のはにわも出土した古墳の周辺をのんびり巡ります。何に会えるかな？

### 荒川村・日野溪谷探鳥会

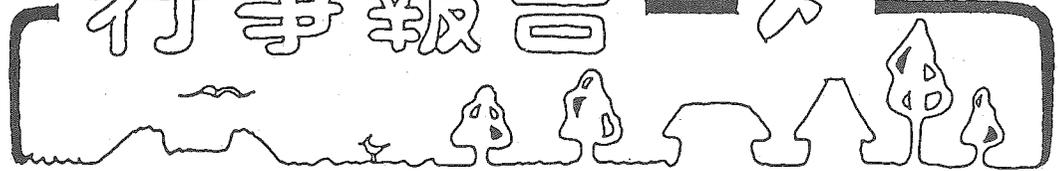
期日：2月28日（日）

集合：午前10時 秩父鉄道武州日野駅

担当：林（滋）、海老原、福井、菱沼

見どころ：ウソやマヒワなど山の小鳥を訪ね歩く早春の秩父路。アニマルトラッキングの楽しみも味わえます。

# 行事報告



10月31日(土)～11月8日(日)

バードウォッチングウィーク展  
“埼玉自然ふれあいの時”

池永重子、海老原教子、海老原美夫、小淵健二、角田真喜子、草間和子、桜庭勇、佐久間博文、新堂克浩、墨江光子、関口善孝、高草木泰行、田口浩司、立岩恒久、中島章二、馬場昇、林滋、菱沼一充、菱沼洋子、福井恒人、松井昭子、松浦準一、町田好一郎、森本國夫  
(ボランティア24人)

11月15日(日) 桶川市 川田谷

参加：42人 天気：曇

カワウ ゴイサギ コサギ マガモ チョウゲンボウ ヒクイナ タゲリ クサシギ タシギ キジバト コゲラ ヒバリ キセキレイ ハクセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス シジュウカラ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ スズメ ムクドリ カケス オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (31種) 曇っていたけれどとても暖かい日。お目当てのタゲリが約80羽の群れで江川沿いの田圃で休息していた。他にシベリアから渡ってきたばかりのタゲリの大群 (100羽以上) が、時々フワフワとやって来て、より住みよい越冬地を探しているようだ。きっとタゲリ君たちは、毎年川田谷へ渡ってくるたびに環境が悪化 (水田の埋立て・休耕田化) して、越冬ができなくなる日が遠くないなあと思っていることでしょう。  
(立岩恒久)

11月15日(日) 浦和市 三室地区

参加：49人 天気：曇

カイツブリ カワウ コサギ カルガモ コガモ オナガガモ ホシハジロ スズガモ キンクロハジロ ヒドリガモ バン コジュ

ケイ タカブシギ イソシギ タシギ ユリ カモメ キジバト コゲラ ヒバリ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ カケス オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (39種) カモたちオンパレードの探鳥会でした。その中で、黄色いおでこのヒドリガモが初登場しました。カケスやアオジ、ツグミ、カシラダカ等が姿を見せて、いよいよ三室の里に冬鳥のシーズン到来です。(楠見邦博)

11月22日(日) 長瀬町 長瀬

参加：69人 天気：晴

カイツブリ コサギ オシドリ カルガモ コガモ オオタカ ノスリ キジバト ヤマセミ カワセミ アカゲラ コゲラ キセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス エナガ シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ スズメ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス (30種) 好天に恵まれ、参加者も多く、にぎやかな探鳥会となった。全員で見られたヤマセミがかわいかった。鳥合わせ中にはノスリも2羽輪を描いてくれて、青い秋の空のもと、楽しい探鳥会となった。  
(林 滋)

11月22日(日) 狭山市 入間川

参加：25人 天気：快晴

カイツブリ ダイサギ コサギ アオサギ マガモ カルガモ コガモ オナガガモ トビ イカルチドリ イソシギ ユリカモメ キジバト アオゲラ コゲラ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ツグミ ウグイス エナガ

ヒガラ ヤマガラ シジュウカラ メジロ  
ホオジロ アオジ カワラヒワ スズメ ム  
クドリ カケス ハシボソガラス ハシブト  
ガラス (36種) この冬の入間川はどういうわ  
けかカモが少なめ。人気者のカワセミも姿を  
見せてくれないし、ちょっと物足りない感じ。  
一方、稲荷山公園では、頭上にやってきたガ  
ラ類を首を痛くしながら観察。耳も休まず働  
かせて、コゲラやメジロ、ウグイスなどの地  
鳴きをしっかりチェック。いじわるそうな目  
つきのカケス (こんなこと言ったら彼らに怒  
られる?) も出てきて、初冬の雑木林は結構  
にぎやか。おまけに、お弁当の間中ヤマガラ  
が目の前のもでエゴノキの実割りのパフォー  
マンスを見せてくれた。 (長谷部謙二)

11月28日 (土) 『しらこぼと』袋づめの会

赤塚義正、岩波勇一、海老原教子、遠藤薫、  
角田真喜子、金川一、楠見文子、桜庭勇、佐  
藤進、塩野谷静子、墨江光子、中村治、中村  
榮男、佐久間博文、山岡百合子、渡辺敦、渡  
辺光行 (ボランティア17人)

12月6日 (日) 本庄市 阪東大橋

参加: 35人 天気: 曇

カイツブリ カンムリカイツブリ カワウ  
ダイサギ コサギ アオサギ マガン マガ  
モ カルガモ コガモ オカヨシガモ ヒド  
リガモ オナガガモ ハシビロガモ ミコア  
イサ カワアイサ トビ オオタカ チョウ  
ゲンボウ キジ シロチドリ タゲリ ハマ  
シギ イソシギ キジバト カワセミ ヒバ  
リ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバ  
リ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ  
ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ  
カシラダカ カワラヒワ ベニマシコ シメ  
スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス  
ハシブトガラス (47種) 集合地での「メジロ」  
の行ってらっしゃいコールでスタート。牧草  
地の杭でチョウゲンボウ。ちょっと遠いねと  
ささやいたら、何とこちらに向って来てくれ  
た!!何をさておきカモたちとのご面会。つい  
でにオオタカのアタックまで大サービス。マ  
ガンもチェーンと約束を守り、待っていてく

れた。カンムリカイツブリやタゲリ、それに  
ベニマシコなどの冬鳥を十分に楽しんだ。冬  
こそ阪東大橋……だね。 (町田好一郎)

12月6日 (日) 北本市 石戸宿

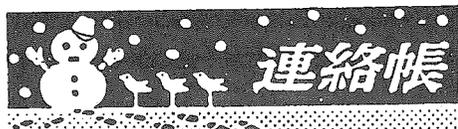
参加: 31人 天気: 曇

カワウ コサギ マガモ カルガモ コガモ  
オオタカ キジ キジバト アオゲラ アカ  
ゲラ コゲラ ハクセキレイ ヒヨドリ モ  
ズ ルリビタキ ジョウビタキ ツグミ ウ  
グイス ヤマガラ シジュウカラ メジロ  
ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ  
シメ スズメ ムクドリ カケス オナガ  
ハシボソガラス ハシブトガラス (32種) 出  
発してすぐに、ヤマガラの群れのお出迎え。  
双眼鏡では見られない程、近くまで来てくれ  
ました。オオタカも3回飛んだし、アカゲラ  
もじっくり木をつついていたし、ルリビタキ  
(メス)も、プロミナに入れられるくらい、  
じっとしていてくれて、じっくり観察できま  
した。ちょっと寒いですが、そのために、他の  
人たちが少なく、探鳥会としては申し分のな  
い日でした。全員〇と満足いただけたと思ひ  
ます。 (吉原俊雄)

12月6日 (日) 越生町 麦原・入山地区

参加: 23人 天気: 曇

コサギ キジバト ヤマセミ カワセミ コ  
ゲラ キセキレイ セグロセキレイ ヒヨド  
リ モズ ルリビタキ ジョウビタキ ツグ  
ミ ウグイス エナガ ヒガラ ヤマガラ  
シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダ  
カ アオジ スズメ ムクドリ カケス オ  
ナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (27  
種) 沢沿いに歩く我々を、キセキレイとカワ  
セミが、先へ先へと飛んで行って道案内。探  
鳥会一行が追い払っていたのだという説もあ  
るけど、しかたないでしょ、一本道なんだも  
の。これでも気をつかっていたんですよ。エ  
ナガの群れは、枝から枝へと、一陣の風のよ  
うに過ぎていった。これは向こうのほうから  
飛んできたんです。紅葉の鮮やかさ。ユズの  
黄色。色彩豊かな探鳥会。来なかった人にも  
見せたかったな。 (海老原美夫)



■■■■■■ 荒川のコハクチョウに朗報 ■■■■■■

1991年7月31日付けで、当支部から県知事宛に、4ヵ所の鳥獣保護区などに関する要望書を提出。その中には荒川明戸堰上流のコハクチョウ保護のための銃猟禁止区域の拡大も含まれていました。(本誌同年9月号)

今冬は1月12日現在54羽も飛来し、餌づけも行われていることから、川本町では、県と協議のうえ、来シーズンから銃猟禁止区域に設定する方針を決めたとのこと。

■■■■■■ 全国野鳥密猟対策連絡会 ■■■■■■

カスミ網問題に関して活動を続けてきた対策本部が、1992年8月の京都会議において解散。かわって、京都支部が事務局を担当し、野鳥密猟の根絶と輸入鳥の法規制を目的とする全国野鳥密猟対策連絡会が発足。個人会員(年会費1口1,000円)も募集中。

連絡先=616 京都市右京区宇多野長尾町1-3 中村様方 全国野鳥密猟対策連絡会(電話075-462-0680 口座振替 京都4-45236)

■■■■■■ 野鳥保護資料集第5集 ■■■■■■

野鳥の国際取引が世界的な生息状況悪化に拍車をかけており、野鳥輸入が国内の野鳥密猟の隠れ蓑にも使われています。日本野鳥の会では、香港・中国での現地調査報告も含め、資料集「野鳥の輸入と国際商取引の問題点」を発行しました。(頒価1,500円、送料310円)

■■■■■■ 千歳川放水路計画に代替案 ■■■■■■

日本野鳥の会千歳川放水路対策専門委員会 は、このほど報告書をまとめました。河川工学の専門家たちが放水路計画の問題点を克明に分析し、それに代わる治水対策として遊水池計画を提唱しています。ただ反対するだけ

ではなく、優れた代替案を提示する画期的なものとなっています。

■■■■■■ 土幌高原道路反対署名運動 ■■■■■■

貴重な動植物の宝庫である大雪山国立公園の第1種特別地域を通る道路計画が進行しています。計画地点間を結ぶ道路は、すでにあって、新しい自動車道ができて、10数分の短縮にすぎません。貴重な自然を破壊し、しかもあまり意味のない道路計画を阻止するため、土幌高原道路に反対する連絡会が署名運動を始めています。

事務局=080 帯広市稲田町 帯広畜産大学内 十勝自然保護協会「土幌高原道路に反対する連絡会」TEL 0155-48-5111内線466、469

■■■■■■ 埼玉県野鳥チェックリスト改定版 ■■■■■■

野鳥記録委員会が1992年7月号に発表したリストに基いて新たに発行。緑色の1992年版は、すでに探鳥会などに登場しています。

■■■■■■ 2月の土曜日当番(2時~6時) ■■■■■■

- 6日 中島康夫 楠見邦博(普及部会議)
- 13日 山部直喜 海老原美夫(編集会議)
- 20日 小野光明 福井 亘
- 27日 袋づめの会(1時から)

■■■■■■ 会員数は ■■■■■■

1月4日現在 2,019人です

活動報告

- 12月5日 普及部会議。
- 12月12日 研究部会議。編集会議。
- 12月23日 役員会議(司会・福井恒人、各部の報告・土幌高原道路反対署名運動・今後の支部の体制・活動のあり方・その他)。

[編集後記] 通勤途中に毎朝見ている白幡沼のアカハジロが、繁殖羽に変わってきれいになった。しばらくぜいたくな通勤だ。(海)

『しらこぼと』1993年2月号(第105号) 定価100円(会員の購読料は会費に含まれます)  
発行人 松井昭吾 編集発行 日本野鳥の会埼玉県支部 TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460  
〒336 浦和市岸町4丁目26番8号 プリムローズ岸町107号 郵便振替 東京9-121130  
印刷 望月印刷株式会社 (本誌掲載記事の無断転載はかたくお断わりします)

再生紙使用